

令和2年度

水道事業概要



苦小牧市水道事業創設70周年

苦小牧市上下水道部

もくじ

苫小牧の水道	1
あらまし	2
水道の概要	4
水源	5
浄水場	6
水質管理	8
送配水施設	10
配水管	11
給水装置	12
災害対策	14
家庭での災害への備え	16
広報活動	17
財政	18
水道料金	19
事業の取り組み	20
事業の沿革	22
問い合わせ相談窓口	23

水道は私たちの大切なライフライン。

いつでも安全でおいしい水を
苫小牧のすみずみまでお届けします。



©2011 苫小牧市

とまチョップ (苫小牧市公式キャラクター)



スイミー
(苫小牧市水道イメージキャラクター)

水辺に住むカワセミをロゴマーク
制作の際に用い、一般公募により
“スイミー”と名付けられました。



苫小牧の水道

WATERWORKS OF TOMAKOMAI



はじめに

苫小牧市水道事業は、昭和25（1950）年、幌内川を水源に計画給水人口28,100人として創設し、昭和27（1952）年に通水を開始しました。

その後、市の発展を背景に給水区域を拡張させ、現在は、平成8（1996）年に変更した計画給水人口182,000人、1日最大給水量80,500m³、目標年次を令和6（2024）年とし、現在は、給水人口を17万人、給水普及率を99.9%とするまでに成長しました。

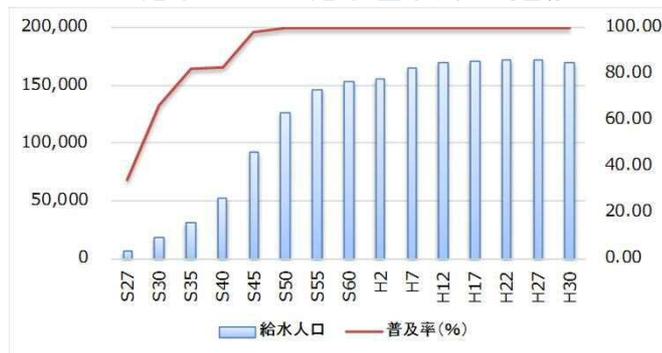
水道は市民が日々の生活を営む上で欠かすことのできないものであり、重要なライフラインを担っています。苫小牧市の水道は、平成30年に策定した『苫小牧市新水道ビジョン』に示された“いつでも・どこでも・おいしい水 未来をつなぐ苫小牧の水”を基本理念として、安全でおいしい水道水の安定供給を目指しています。



水道事業の沿革

区分	認可年月日	目標年次	計画給水量		計画給水人口(人)	備考
			1人1日最大(L)	1日最大(m ³)		
創設	S25(1950).8.12	S34(1959)	225	8,100	28,100	
第1回変更	S34(1959).3.27	S41(1966)	230	8,100	35,000	区域拡張
第1次拡張事業	S37(1962).3.31	S45(1970)	320	44,500	139,000	区域拡張 給水量増
第2次拡張事業	S49(1974).3.20	S56(1981)	390	80,500	206,000	給水量増
第1回変更	S55(1980).8.23	H4(1992)	400	92,500	231,000	給水量増
第2回変更	H8(1996).3.29	H16(2004)	442	80,500	182,000	区域拡張
-	(H17(2005).6.9)	H26(2014)	〃	〃	〃	目標年次
-	(H26(2014).4.1)	R6(2024)	〃	〃	〃	目標年次

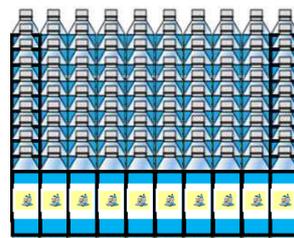
給水人口・給水普及率の推移



1人1日平均給水量

1人1日あたりの平均給水量は、およそ290Lになります。

1年を通して、配水量が最も多くなる日は、12月31日の大晦日となることが多く、新年を迎える準備をしているためと考えられます。



苦小牧の水道の あらまし

施設の位置と
上下水道部の仕事



本市水道事業の水源は、幌内川、勇払川、錦多峰川の河川表流水です。

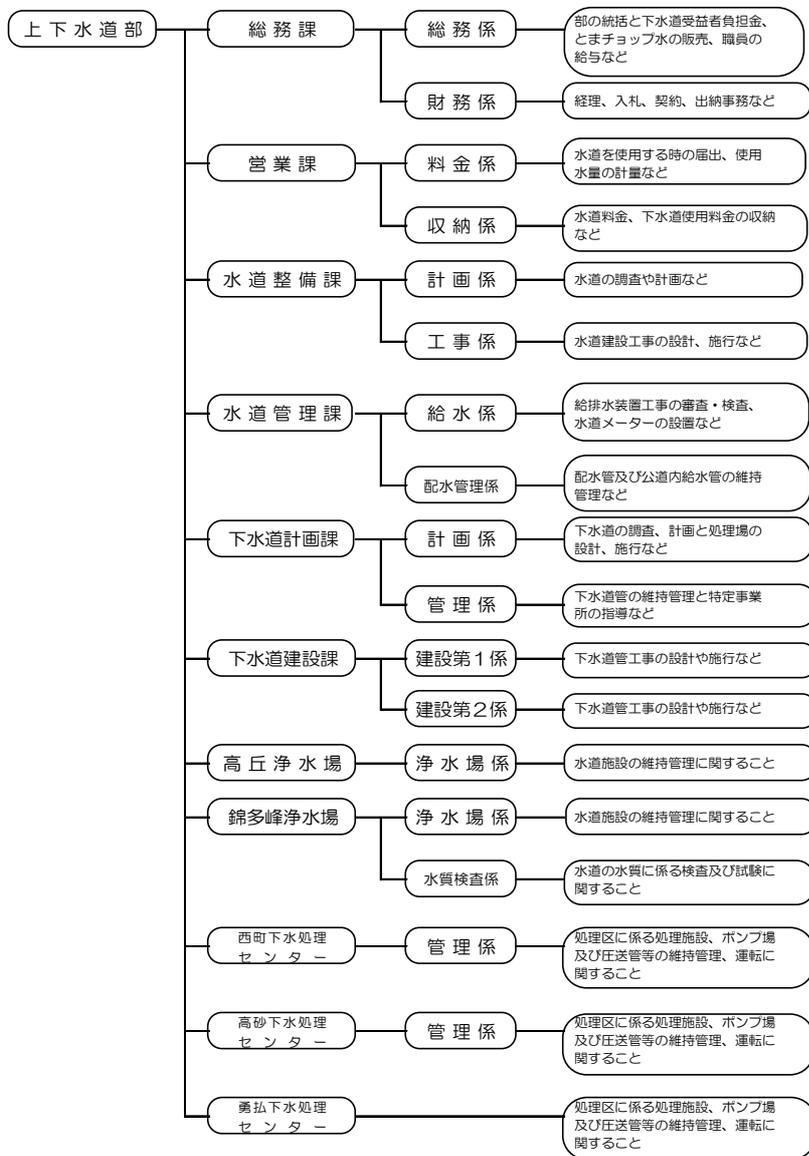
このうち、幌内川上流は環境省のまとめた水質測定結果で水質日本一となりました。

上下水道部では、この良質な水源から供給される水をいつでも安心して飲める、安全で信頼される水道として皆様のご家庭にお届けしています。



● 上下水道部の組織と主な仕事

(令和2年4月1日現在)





水質日本一の幌内川と錦多峰川、勇払川が水源になってるんだ！なるほど☆



凡例

市役所	給水区域
高丘浄水場	重要水道管
錦多峰浄水場	給水拠点(緊急貯水槽)
取水場	給水拠点(運搬給水)
その他水道施設	専用水道

※緊急貯水槽の計画については、「災害対策」のページをご覧ください。

水道の概要

水道の水が
届くまで

皆さんが日常飲んでいる水、実は世界中を廻って長い年月をかけてたどり着いたものということをご存じでしょうか。

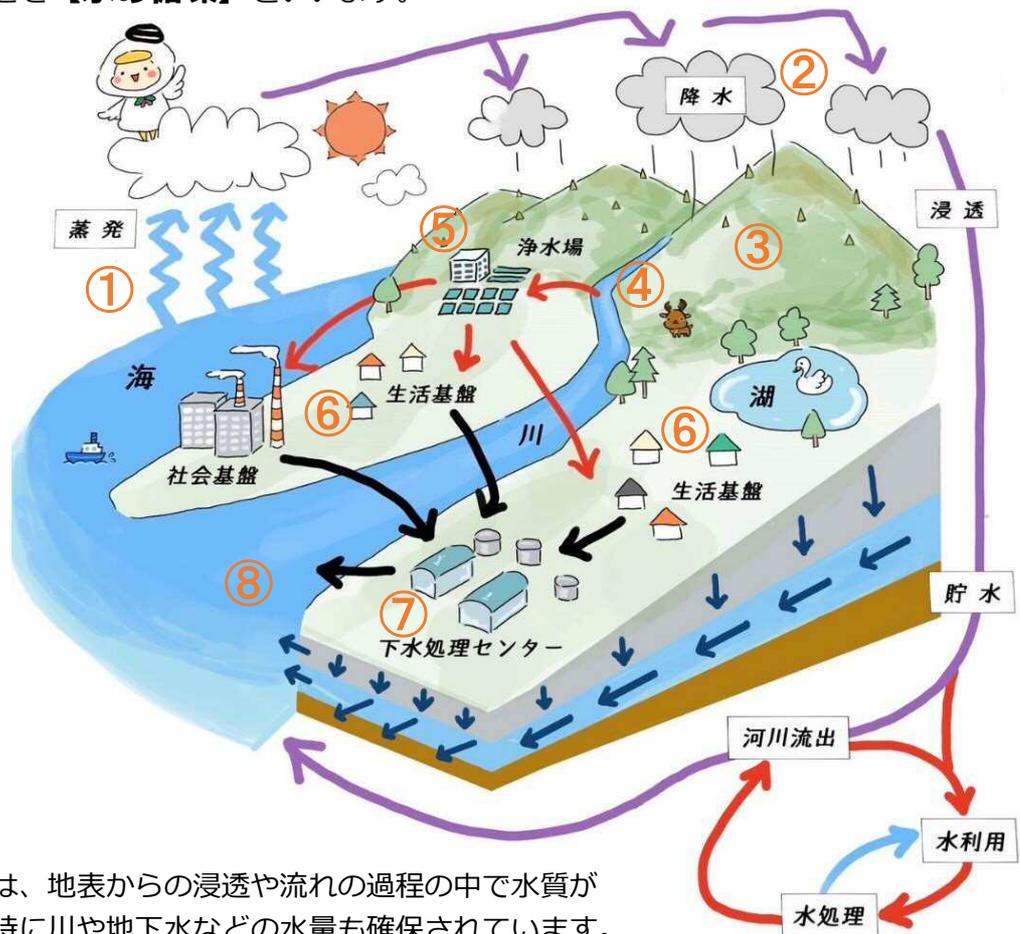
水は循環して常に地球上を廻っています。水の循環が適切に行われることによって、すべての生き物の営みに必要な健全な水の存在が保たれています。

水道のしくみ

水の循環

- ① 「海」の水が蒸発して、空に上がって「雲」になり、
- ② 「雲」が樽前山の周辺で、「雨」や「雪」となって降り、
- ③ 「雨」や「雪」がいくつもの「小さな川」や「沼」や「湧き水」となり、
- ④ 水が集まって「大きな川」となり、
- ⑤ 「川」から水を取って「水道水」がつくられ、
- ⑥ 「水道水」を皆さんが家や学校・職場などで使い、
- ⑦ 使われた水は「下水処理センター」できれいにして
- ⑧ 「海」へ流されます。

この繰り返しのことを【水の循環】といいます。

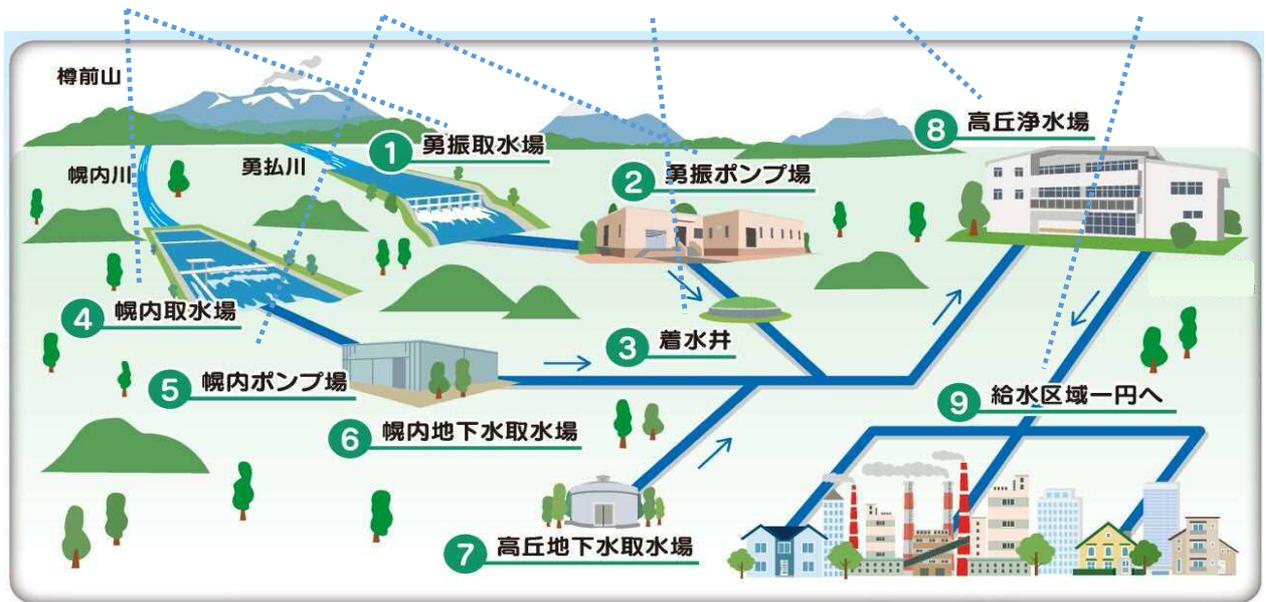
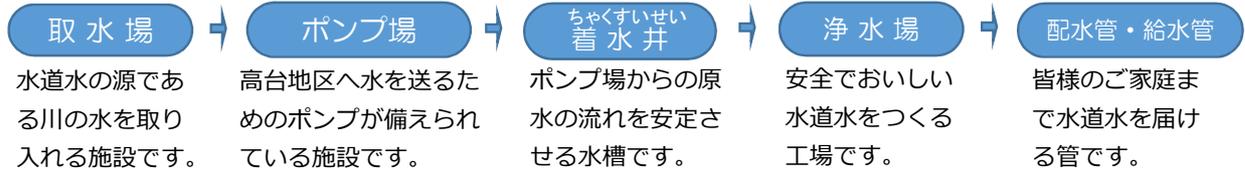


健全な水の循環は、地表からの浸透や流れの過程の中で水質が浄化されるのと同時に川や地下水などの水量も確保されています。

また、多様な生態系の維持や水辺の保全など、地球の自然環境における重要な役割を担っています。

これまで人類による産業・社会活動の結果、地球温暖化が進行し、過去に例のない大雨や水不足などの異常気象が増加しているといわれていますが、これらは水の循環にも影響を与えています。健全な水の循環のために「環境保全」などの取り組みがなければ、皆さんが飲んでいる「おいしい水道水」をつくることができなくなってしまいます。

水が届くまで



水源

苫小牧の水を確保
いつまでも良質な水を

都市生活を支える水。その水源確保は水道水の安定供給のために最も大切なことです。苫小牧市は樽前山麓の豊かな自然に恵まれた環境のもと、安定した水量を保つ、**幌内川・勇払川・錦多峰川**の3つの川を原水とし、豊かな水源を確保してきました。



幌内取水場



勇振取水場



錦多峰取水場



幌内川上流は環境省による公共用水域水質調査において、3年連続水質日本一(2017~2019年)に評価されるなど、水質のすばらしさを誇っています。

自然豊かな環境とおいしい水を将来に渡って守るため、定期的な水源のパトロールや、河川流域の清掃による水質保全と水源の監視に努めています。

昭和60年には、厚生省の「おいしい水研究会」において、全国の人口10万人以上の198都市の中から、水道水のおいしい都市として32都市が選定されており、道内では苫小牧市と帯広市が選ばれています。



幌内川



七条大滝



浄水場

安全でおいしい水をつくります

河川から取り入れた水（原水）を安全でおいしく飲むことのできる水道水に処理するための施設が浄水場です。
つまり浄水場は、水道水をつくる工場です。

高丘浄水場（日最大浄水処理能力：44,500m³）

〒053-0035 苫小牧市字高丘101番地の1 Tel 0144-32-2652

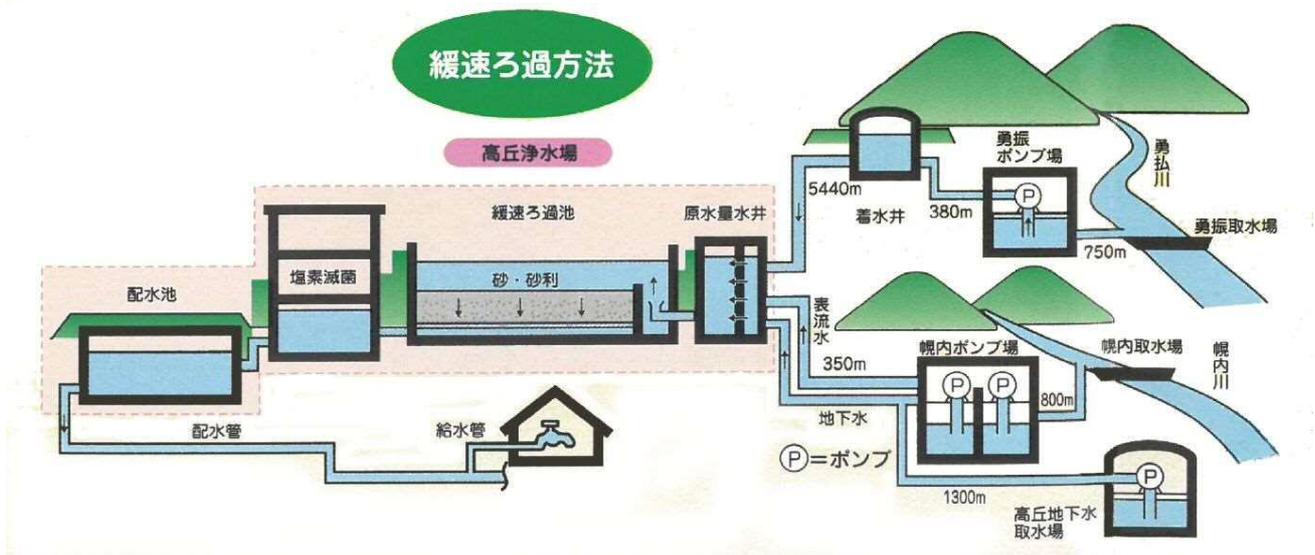


昭和40年度供用開始

高丘浄水場では、緩速ろ過方式で水道水をつくっています。

緩速ろ過方式は、微生物の働きにより汚れを取り除くため、消毒用の塩素以外に薬品を使用することのない方式です。しかし広大な敷地ときれいな原水が必要であるため、この浄水方法を取り入れている施設は、全国の浄水場の約10%程度にとどまり、自然豊かできれいな水の苫小牧だからこそできると言えます。

一日の平均給水量は約3万m³で、4つある配水池には約2.5万m³の水が蓄えられます。
出来上がった水道水は、市内中央・東部地区に給水しています。



緩速ろ過池

緩速ろ過池は、薬品を使わず、生物の浄化作用を活用した浄化処理施設です。原水を池の底のろ過砂層に上から4～5m/日の速さでゆっくり通し、砂層表面の微生物の働きにより浄化処理をします。ろ過池は全部で7池あり、全て合わせると8,012m²の広さがあります。





東西に長い苫小牧市の浄水場は高丘と錦岡にあり、そこから水道水をお届けしています。

高丘浄水場は勇払川と幌内川、錦多峰浄水場は錦多峰川から取水し、いずれの川も樽前山麓の森から湧き出た清流で、おいしい水の源となっています。

錦多峰浄水場 (日最大浄水処理能力：36,000m³)

〒059-1275 苫小牧市字錦岡330 Tel.0144-67-1153

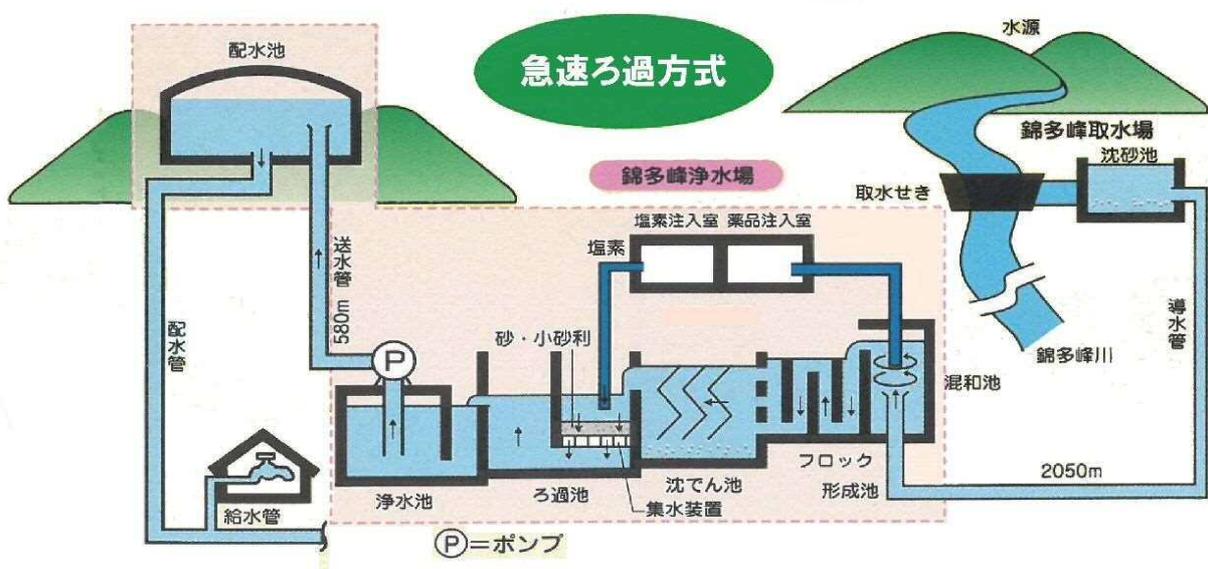


昭和52年度供用開始

錦多峰浄水場では、急速ろ過方式で水道水をつくっています。

急速ろ過方式は、コンパクトな敷地で浄水場を運用でき、かつ凝集剤の注入率を変更することにより大雨時等で原水が濁った場合でも水道水がつくられることから、全国の水道事業で最も多く採用されている方式です。

一日の平均給水量は約2万m³で、3つある配水池には1.8万m³の水が蓄えられます。出来上がった水道水は、市内西部地区に給水しています。



急速ろ過池

急速ろ過池は、細かな汚れを凝集剤で大きくし、沈でん池で沈めたのち、水を1日に50～60mの速さで砂や小砂利の層にすばやく通し、浄化処理する施設です。ろ過池は全部で16池あり、全て合わせると374m²の広さがあります。



水質管理

水質検査と水源の監視

苫小牧の水道水の水源は、樽前山麓の森から湧き出した清流で良質ですが、より安全で良質な水道水を将来にわたり安定してお届けするために、浄水場などの施設では定期的に水質検査を行っています。

また、大切な水源を守るために河川流域のパトロールや清掃活動を行い、水源の監視と水質保全に努めています。



水質検査室

水源・浄水場・配水池・市内の水を検査します。



河川流域の清掃活動

春と秋に清掃活動を行い、河川流域のゼロごみを目指します。

水質検査で活躍する装置たち



誘導結合プラズマ質量分析装置

水道水中の金属成分を測定します。



全有機炭素分析装置

水道水中に含まれる有機物を測定します。



高速液体クロマトグラフ分析装置

洗剤（界面活性剤）成分を測定します。



バイオアッセイ装置

水質の変化に敏感な魚類（ヤマメ）で、水質の変化を常時監視します。



ガスクロマトグラフ質量分析装置

揮発性有機化合物（トリハロメタンなど）を測定します。



水質監視システム

市内各地に水道水自動測定装置を設置し24時間連続して水道水を検査します。検査データはリアルタイムで浄水場に送られ、市内の水質を監視します。



水道水自動測定装置

市内の水質（色、濁り、消毒効果）を常時測定します。



水質監視システム

市内の水質を浄水場で監視します。

安全でおいしい水ってどんな水？

水源から蛇口まですべての水を検査し、水道水の安全を確認しています。

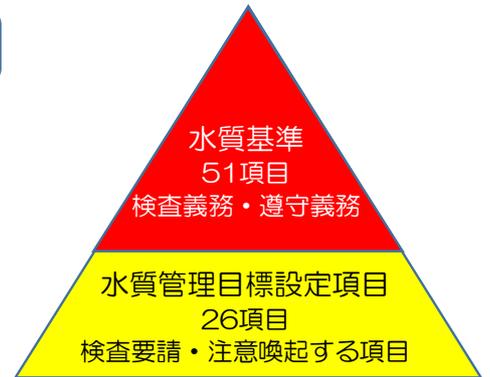
水道水の基準について

水道水には守らなくてはならない基準（水質基準）があります。

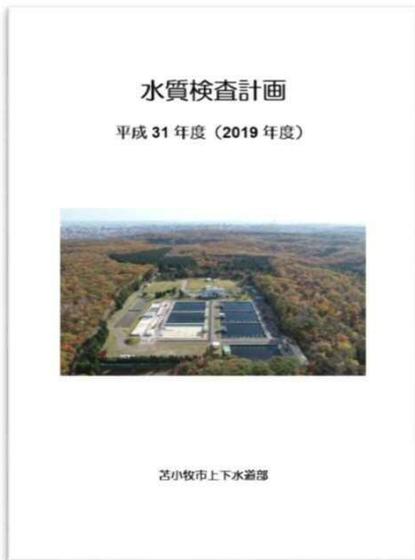
これは水道法という法律に基づき健康影響や生活上支障のあるとされる51項目が規定されています。

苫小牧市の水道水は、全ての項目の水質基準を満たしているので安全です。

また、水質基準以外にも、水質管理上気を付けるべき項目は水質管理目標設定項目として検査を行っています。



水質検査計画と結果の公表について



苫小牧市では、水道水の水質検査計画（検査項目、検査地点、検査頻度等）を毎年度作成し、ホームページなどで公表しています。

新たな計画を作成する際には、法令改正や過去の検査結果、皆様からのご意見をもとに、必要に応じて見直しを行います。

また、水質検査結果についても、ホームページで見ることができます。

消毒について

水を塩素で消毒すると水の中に微量の塩素が残りますが、これを残留塩素といいます。残留塩素が水中の病原微生物を殺菌し続けるため、水道水は安心して飲むことができます。

水道法では、水道水は蛇口から出る時点で残留塩素があることと定められています。

おいしい水の秘密について

苫小牧市の水道水の水源は樽前山麓の森林地帯で、雨や雪解け水が長い歳月をかけ地中でろ過された後、地表へと湧き出し水源河川の元となっています。

水道水の元となる河川の水質が良好なため、消毒に使う塩素の量が少ないこと。水源の環境が良好なため、有機物の汚染や異常な臭気もないこと。地中でろ過されたときに程よいミネラル分が含まれること。これが苫小牧市の水道水がおいしい秘密です。



おいしい水にかかわる検査項目

項目	水質基準等	苫小牧市の水道水
残留塩素	1mg/L以下	0.3~0.4mg/L
有機物	3mg/L以下	0.3~0.4mg/L
硬度 (ミネラル分)	300mg/L以下	24mg/L (高丘系)
		67mg/L (錦多峰系)
臭気	異常ないこと	異常なし

※平成30年度平均値

配水施設

きれいに処理した
浄水を届けます

配水施設は、浄水場できれいに処理された浄水を劣化させることなく、必要な量を適正な圧力で、必要とする場所へ送る施設です。

苫小牧市では高丘浄水場、錦多峰浄水場の2か所の浄水場でつくられた水を配水していますが、高丘浄水場と錦多峰浄水場の配水区域は、市内のバルブ操作により仕切られ、配水コントロール施設を通る流量を変えることにより、両配水区域の配水比率を変えることができます。



配水ポンプ場・増圧ポンプ所

一般的に水道は、水が高いところから低いところに流れる自然の力を利用して、水を送っています。しかし、自然の力だけでは届かない遠い場所や低いところから高いところに水を送るときは、ポンプの力を利用します。

ポンプ場(増圧ポンプ所)では、ポンプで必要な力を加えて、各家庭や高架水槽などに水を送っています。

施設名称	所在地	備考
別々増圧ポンプ所	苫小牧市字樽前96番 1	平成17年度完成
樽前増圧ポンプ所	苫小牧市字樽前409番	平成14年度完成
錦岡オーシャンヒルズポンプ場	苫小牧市字錦岡495番1370	平成6年度完成
錦岡増圧ポンプ所	苫小牧市字錦岡472番	平成27年度完成
グリーンヒルポンプ場	苫小牧市字糸井424番4	昭和60年度完成
グリーンヒルポンプ場高架水槽	苫小牧市桜坂町2丁目22番	昭和60年度完成
有珠の沢増圧ポンプ所	苫小牧市有珠の沢町 6 丁目23番	平成7年度完成
スプリングス高丘ポンプ場	苫小牧市字高丘6番162	平成8年度完成
植苗ポンプ場	苫小牧市字植苗35番49	平成11年度完成
柏原ポンプ場	苫小牧市字柏原32番44	平成8年度完成

配水管

安全な水を
送り届けます

各浄水場でつくられた水は、配水管によって各ご家庭に届けられます。苫小牧市の配水管のほとんどは、道路に埋められており、全部でおよそ1,250kmにもなります。真っ直ぐつなげると、苫小牧市から広島県広島市にも届く距離になります。実際には網目状に埋められており、漏水や工事などの影響による断水や、水質の劣化しにくい配管になっています。

苫小牧市では、これらの配水管を維持管理しながら、古くなった管の更新や耐震化などの整備を進めています。

老朽化対策

配水管の更新

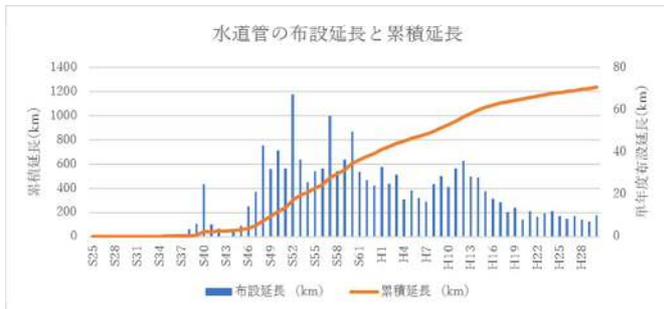
苫小牧市では昭和43（1968）年の十勝沖地震により、水道管の損傷による断水を経験しています。また、古くなった水道管が増えると、断水などの事故により市民生活に影響を与える可能性が高くなります。このような被害を抑制し、災害に強い水道を築いていくため、水道事業では、古くなった水道管を計画的に更新する事業を実施しています。



ポリエチレンスリーブという円筒状の袋をかぶせて腐食を防ぎ、さらなる長寿命化を図っています。



施設点検作業の様子



配水管更新事業

耐震性の向上と良質な水の確保を目的に、優先度に沿った更新事業を実施しています。

現在、更新の対象としている水道管は、主に昭和40年代後半に埋められた普通鉄管や塩化ビニール管、硬質ポリエチレン管などで、これらは耐震性が低く、錆などの劣化も見られるため優先的に更新を進めています。新しく入れる管は、耐震性に優れたダクタイル鉄管などを採用し、順次更新しています。

水道管の法定耐用年数は40年とされていますが、40年を超えるとすぐに不具合が発生するものではないため、様々な管の特性に応じた優先度で配水管更新事業を実施しています。

工事の際には市民の皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



漏水の早期発見

水道管は、長い間の腐食や破損などによって漏水を引き起こすことがあります。漏水は経済的損失だけでなく、水圧の低下、土壌の流出、陥没などの原因となるので、これらを未然に防ぐための漏水調査や施設点検を実施しています。また、主要幹線道路やJR用地の横断箇所に、高感度振動センサーを内蔵した監視ユニットを設置して継続的に漏水音を監視しています。

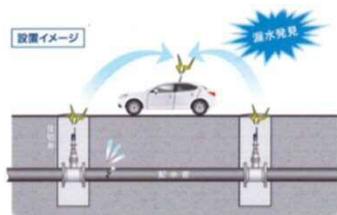
そのほか、調査員がお客様の敷地内に立ち入り、水道メーターや止水栓で漏水音の聞き取り調査をすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。



漏水探知機による調査



漏水音監視イメージ



漏水状況

給水装置

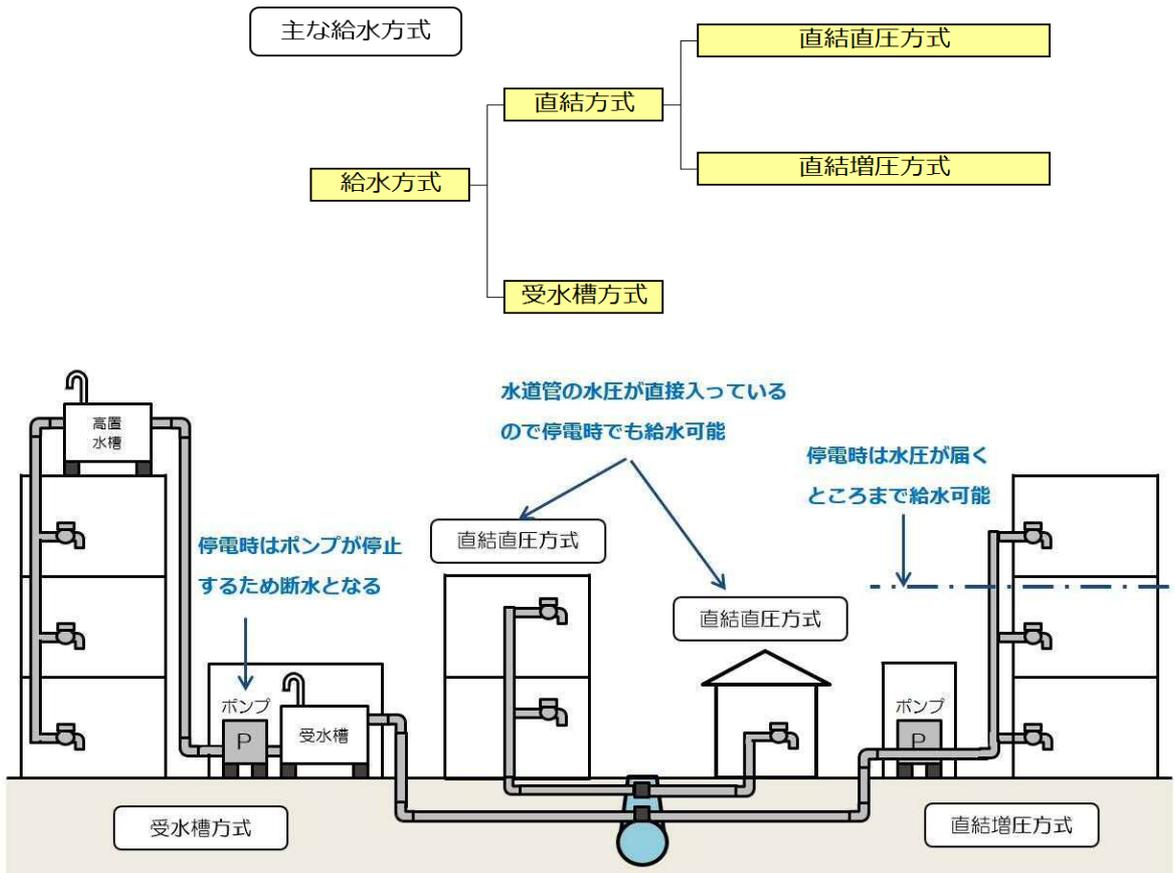
皆さまのご家庭まで
水を送ります

給水方式

給水方式には

「直結直圧方式」「直結増圧方式」「受水槽方式」の3つがあります。
各給水方式には、長所と短所がありますので下表をご参考ください。

給水方式は災害発生時に非常に大切な情報になります。ご自身がお住まいの建物がどのような給水方式か不明の場合は、建物を管理している管理会社や大家さんにお問合せください。



給水方式	停電の場合	長所	短所
直結直圧方式	給水可能	①水圧により水が供給されるため、電力等の動力が不要。 ②受水槽・ポンプの維持管理が不要。 ③水道管と直結するため、安全性が確保された水が供給できる。	①水道管断水時には、給水できない。 ②水道管の水圧低下が発生すると、蛇口からの水の出が弱くなる。
直結増圧方式	高層階のみ水が出ない場合あり	①受水槽の維持管理が不要。 ②水道管と直結するため、安全性が確保された水が供給できる。	①水道管断水時には、給水できない。 ②水道管の水圧低下が発生すると、蛇口からの水の出が弱くなる。 ③ポンプの維持管理が必要。
受水槽方式	断水	①学校や病院などの一度に水道水を多く使用する場合でも給水できる。 ②水道管が断水となった場合でも水槽内の水を使用できる。	①受水槽・ポンプの維持管理が必要。 ②受水槽の清掃・保守が不十分だと水質低下につながりやすい。 ③貯水時間が長くなると水質劣化するおそれがある。

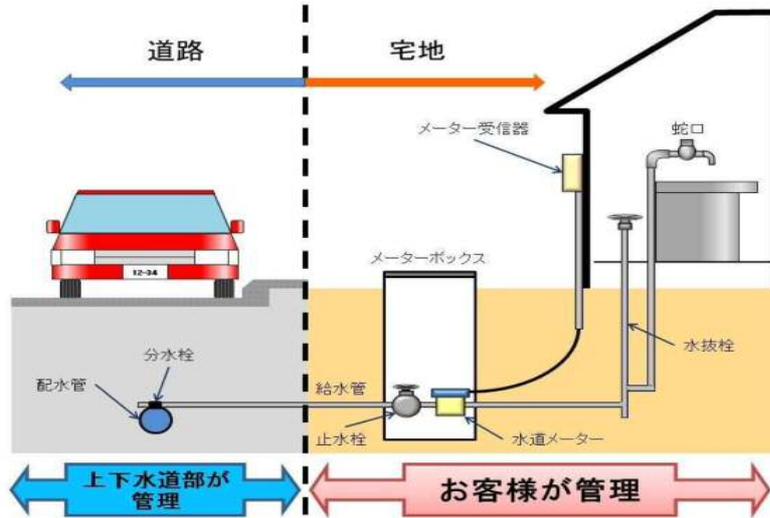
給水装置

給水装置とは

道路に埋められた水道管（配水管）から分水栓で分かれ、家庭の蛇口まで引き込まれた給水器具を「給水装置」と呼びます。

給水装置のうち、水道メーター以外はお客様の財産です。

したがって、給水装置の維持管理はお客様が行う必要があります。ただし、公道内の給水装置の異常については、上下水道部にて対応を行います。



「水道修理を行う業者名簿」はQRコードからご覧になれます。

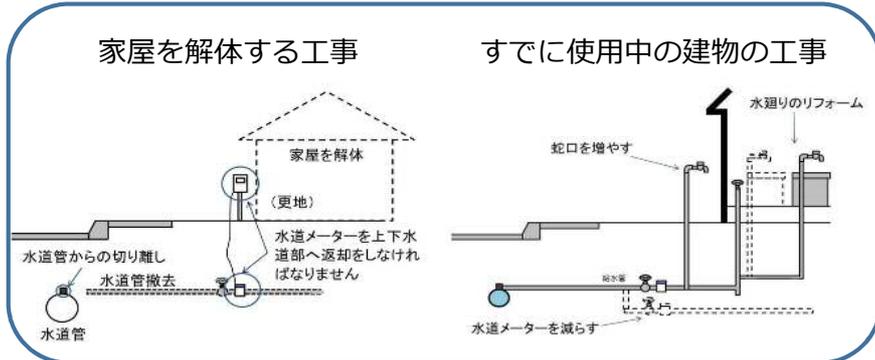


給水装置工事の届出について

水道設備のある家屋等を新築、解体、リフォームする際には、事前に市への届出が必要です。また、工事は指定事業者でなければ施工することができません。

市への届出などの手続きは指定事業者を通じて行ってください。

届出が必要な工事は、家屋を新築する場合や、すでに使用中であっても水廻りのリフォーム、水道メーターを減らす、散水栓を増やすとき、家屋解体に伴う水道撤去工事も含まれます。



「苫小牧市指定給水装置工事事業者」はQRコードからご覧になれます。

※家屋を解体し、更地にする場合は、水道管からの切り離しと、上下水道部で貸与している水道メーターの返却が必要となります。

給水装置工事の届出の流れ



災害対策

強靱な水道をつくります

普段から、ご近所の
応急給水拠点を
確認しておくこと
安心だなあ☆



緊急時の水の確保

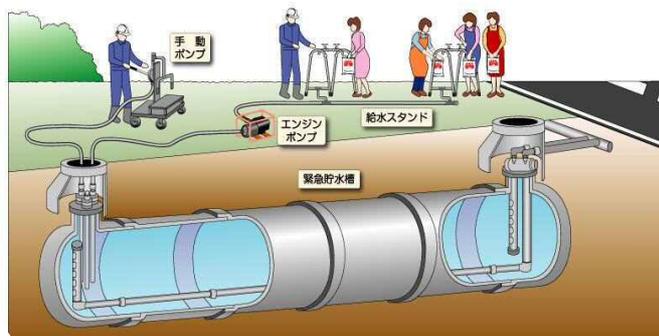
応急給水拠点

大地震や噴火などにより、水道施設が被害を受けた場合に備え、「被災時の飲料水確保」が必要となります。そのため、避難所に指定された小学校等において、17か所の緊急貯水槽と5か所の運搬給水拠点、合わせて22か所の応急給水拠点を計画しています。緊急貯水槽は、令和元年度末現在で13か所に設置されています。右の表で未設置となっている場所は、設置されるまで運搬給水で対応します。

緊急貯水槽には災害発生後の3日間、1人1日3リットルの水を給水することができるように計画していますが、非常時に備え、市民の皆様のご家庭でも飲料水の備蓄をお願いします。

設置場所	給水方法	容量	設置年	
1	樽前小学校	貯水槽	7m ³	未設置
2	錦岡小学校	貯水槽	60	H29
3	凌雲中学校	運搬給水	-	-
4	澄川小学校	貯水槽	100	H25
5	泉野小学校	貯水槽	100	H22
6	日新小学校	運搬給水	-	-
7	糸井小学校	貯水槽	60	H28
8	北星小学校	貯水槽	40	未設置
9	豊川小学校	貯水槽	60	H23
10	北光小学校	貯水槽	100	未設置
11	清水小学校	運搬給水	-	-
12	美園小学校	運搬給水	-	-
13	日の出公園	貯水槽	40	H16
14	西小学校	貯水槽	100	R1
15	若草小学校	貯水槽	60	H27
16	東小学校	貯水槽	60	未設置
17	明野小学校	貯水槽	100	H30
18	拓勇小学校	貯水槽	100	H26
19	沼ノ端小学校	貯水槽	60	H21
20	勇弘中学校	貯水槽	40	H23
21	ウトナイ小学校	貯水槽	40	H24
22	植苗小中学校	運搬給水	-	-

緊急貯水槽の概要図



※「未設置」となっている場所は、今後設置する予定となっています。設置されるまでは、運搬給水で対応します。

緊急貯水槽を使用した訓練の様子



近年、国内では大規模な地震等の災害が度々発生しており、水道施設が被害を受けた場合は、広範囲・長期間に及ぶ断水が生じる可能性があります。このような状況を踏まえ、苫小牧市の新水道ビジョンでは、「強靱な水道の確保」を基本施策として掲げ、これを実現するためには、水道施設の耐震化推進が急務となっています。苫小牧市では非常時においても安定的な給水を持続するため、様々な取り組みをしています。

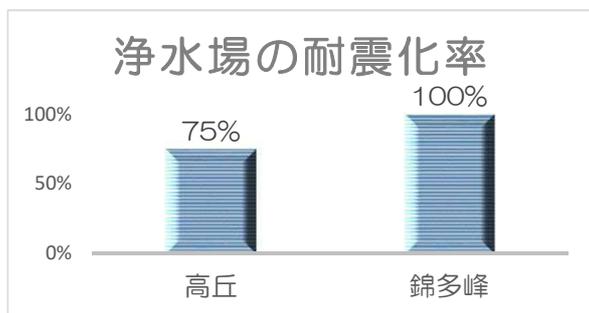
水道施設の耐震化

【浄水場施設】

浄水場施設には、浄水場や取水場など様々な施設がありますが、耐震診断の結果に基づき、平成23年度から順次、耐震化を進めています。耐震性が不足すると判断された施設については、すべて耐震化する計画としています。



錦多峰取水場沈砂池耐震補強工事



高丘浄水場配水本管改良工事口径
(口径800mm)



【重要水道管の耐震化】

口径300mm以上の管路を重要水道管と位置づけ、耐震化を進めています。重要水道管は、配水管の上流部に使用されていることが多く、管路が損傷を受けた場合、断水の影響範囲が大きくなると考えられます。そのため、重要水道管の耐震化については、早急に進めることが望ましいですが、口径が大きく多額の事業費を要することから、特に老朽化し耐震性に劣る管を優先的に耐震化し、効率的な事業実施に努めています。

【重要給水ルートの耐震化】

配水池から重要給水施設までの給水ルートの耐震化を図り、被災の抑制を目的として重要給水ルートの耐震化を進めています。

重要給水施設として、災害時に特に水道水を必要とする災害対策本部や応急給水拠点等を設定しており、配水支管を含めて大きな地震動に対し、所定の耐震性能を満たす管路へと布設替えを行います。

重要給水施設一覧

施設種類	施設名	施設種類	施設名	
拠点医療施設 5か所	王子総合病院	応急給水拠点 22か所	糸井小学校	
	苫小牧市立病院		北皇小学校	
	苫小牧日翔病院		豊川小学校	
	同樹会苫小牧病院		北光小学校	
	とまこまい脳神経外科		清水小学校	
災害対策本部 6か所	苫小牧市役所		美園小学校	
	樽前支部（樽前小）		日の出公園	
	のぞみ支部（のぞみ出張所）		西小学校	
	沼ノ端支部（沼ノ端コミセン）		若草小学校	
	勇払支部（勇払出張所）		東小学校	
応急給水拠点 5か所	植苗支部（植苗ファミリーセンター）		明野小学校	
	樽前小学校		拓実小学校	
	錦岡小学校		沼ノ端小学校	
	凌雲中学校		勇払中学校	
	澄川小学校		ウトナイ小学校	
	泉野小学校		植苗小中学校	
	日新小学校		合計	32か所（樽前小重複）

家庭での 災害への備え



日頃から災害に 備えましょう！



災害に備え、飲料水の備蓄を！

目標

1人あたり
3リットル×3日分

上下水道部では、緊急貯水槽などの拠点給水施設の整備を進めていますが、確保できる水道水の量には限りがあり、貯蔵している資材にも限りがあります。また、地震などの災害発生時には応急給水まである程度時間がかかることが予想されます。日頃から、皆様のご家庭でも非常時のための飲料水の備蓄をお願いします。

飲料水の保存方法

水道水を保存する場合は、清潔で密閉可能なフタのある容器に口元いっぱい水を満たし、フタをしっかりと閉めてください。日の当たらない涼しい所では、3日程度は保存できます。浄水器を通した水は、残留塩素が低下しますので毎日くみ替えが必要です。

市販のペットボトルなどを保存する場合は、製品の保存方法や賞味期限などの記載事項をご確認ください。

その他生活用水の備蓄も！

災害時に断水して困ることの一つがトイレです。

飲料水とは別に、生活用水として風呂水をためておくのも有効手段です。



小さな子どもがいる世帯では、ためた風呂水で子どもが溺れる危険があるのでやめましょう。

もしも災害が起きたら

ご家庭の飲料水が不足した場合

フタのできる清潔な容器を持参のうえ、緊急貯水槽などの拠点給水施設で給水を受けてください。

応急給水の情報についてはホームページや上下水道部LINE@、避難所の掲示などでお知らせします。

給水所
では

- 水の量には限りがありますので、最小限の給水を心掛けましょう。
- 給水作業がスムーズになるように順番を守りましょう。
- 周りにお年寄りや体の不自由な方がいたら、水の持ち運びなどのご協力をお願いします。

災害時は地域内において協力・助け合いをしましょう。



災害時は
デマ情報に
ご注意ください！

近年の災害時には、インターネットやSNSを通じて事実とは異なる誤った情報が広まりました。

断水等に関する最新の情報は、苫小牧市ホームページ等で随時お知らせします。

災害情報収集には

LINE@

お友だち募集中！



上下水道部
ホームページ
はこちら →



または

苫小牧 上下水道事業

検索

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>

広報活動

水道事業への理解を
深めていただくために

市民生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業者として、多様化する市民ニーズに対応するため、令和元年度から、「広報戦略委員会」を設置し、民間のノウハウを活かした新しい事業PRを推進するため業務委託を実施するなど、情報発信と事業PRの改善を図りました。

イメージキャラクター「スイミー」



苫小牧のおいしい水「とまチョップ水」



イメージソング



耳に残るリズムと歌詞で、苫小牧の水への興味を持つきっかけになるよう、イメージソングを制作。各種イベントや庁内で放送しています。

移動式デジタルサイネージ



水道事業の取り組みや、各種イベント、キャンペーンなどの情報を発信しています。

水だより・リーフレット・パンフレット



水にまつわるフォトコンテストなどを実施した新しい水だより、とまチョップ水販売店マップ、浄水場パンフレット

ホームページ・SNSによる情報発信

LINE@

お友だち募集中!



上下水道部
ホームページ
はこちら →



または
苫小牧 上下水道事業 検索

お問い合わせ先や手続き方法などの生活に密着した情報から、とまチョップ水販売店、各種イベントなどの最新情報を発信しています。

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>

とまチョップ水の販売



平成27(2015)年より、苫小牧のおいしい水道水をPRするため、水道水を加熱殺菌し、塩素を取り除いたボトルドウォーター「とまチョップ水」を販売しています。

平成31(2019)年には、国際的な評価機関である「モンドセレクション」において**金賞**を受賞いたしました。

市内各販売店のほか、東京の「北海道どさんこプラザ有楽町店」でも販売しています。市内での購入や東京近郊に在住のご家族・ご友人などへ是非ご紹介ください。

水道事業に参加しよう



市内・近郊イベント
港まつりなど様々なイベントに参加しています。



応急給水体験会



水フォトコンテスト



苫小牧水サミット

上下水道フェスタ

応急給水訓練

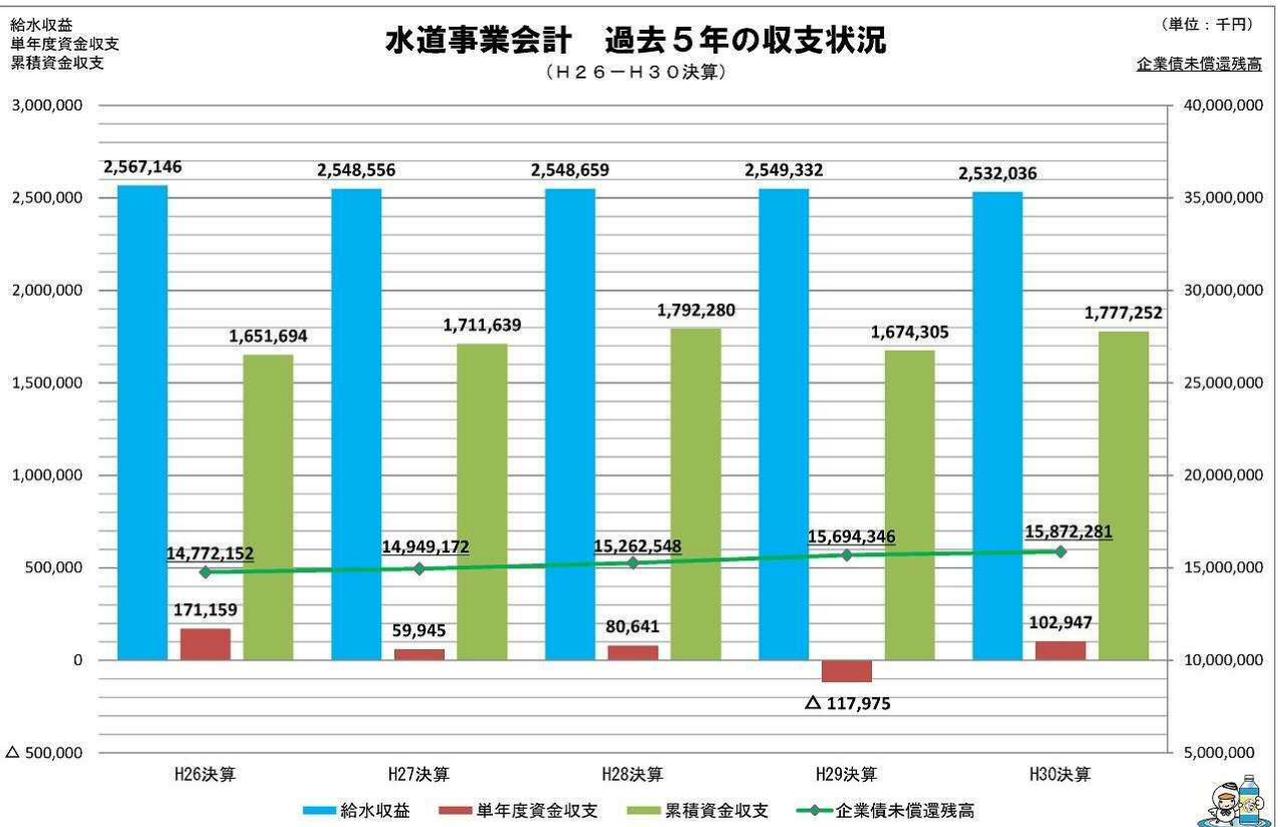
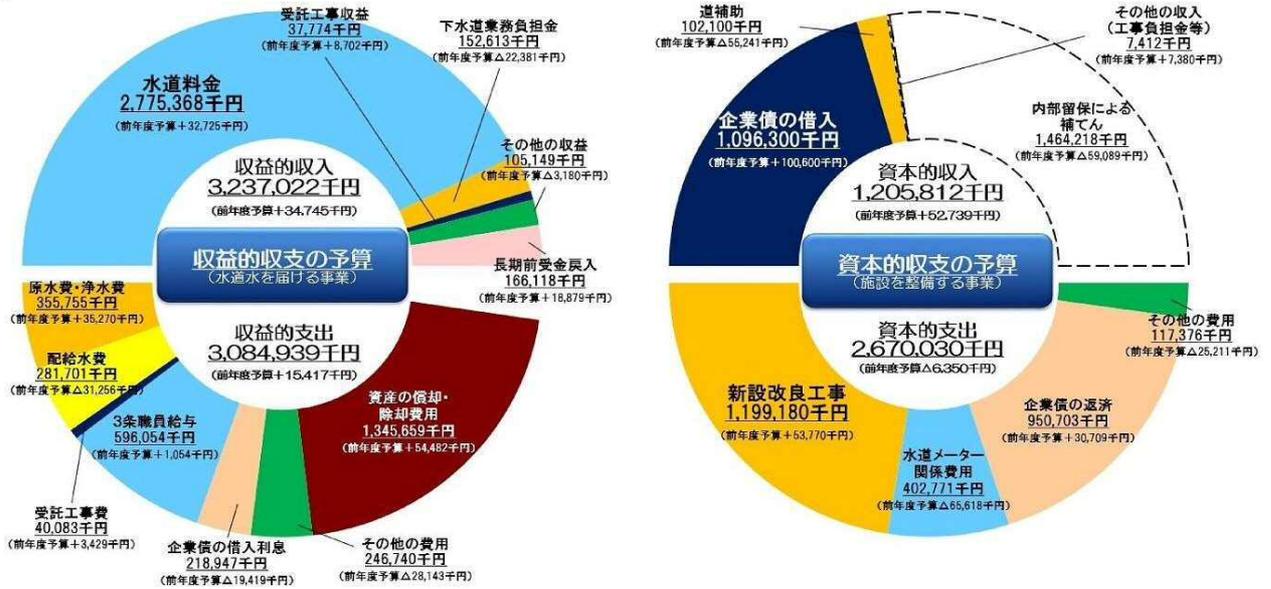


財政

水道事業の予算

苫小牧市の水道事業は地方公営企業として経営しており、その事業の運営に必要な経費のほとんどを、水道事業で賄う独立採算制をとっています。

令和2年度 水道事業会計予算案の収支構成



水道料金

水道料金制度の概要

苫小牧市の水道料金は、下記のようなしくみとなっています。
通常、水道料金と下水道使用料をあわせて2カ月ごとにお支払い
いただいております。



料金表

(料金表には、消費税相当額は含まれておりません。)

		基本料金 *2か月分	超過(従量)料金(1m)			
			0~16m ³	17~40m ³	41~200m ³	201m ³ 以上
家事用	25mm以下	1,780円	20円	115円	140円	148円
	40~50mm	5,680円				
	75~100mm	13,480円				
	150mm以上	27,280円				
業務用	25mm以下	3,620円	30円	178円	192円	204円
	40~50mm	7,800円				
	75~100mm	15,600円				
	150mm以上	29,600円				

※上記料金表で計算された合計額に100分の110を乗じて得た金額が料金となります。



苫小牧市の水道料金のしくみ

水道料金 = 基本料金 + 超過料金

水道料金は「基本料金」と「超過料金」で構成されています

このように基本料金と超過料金の2本建てで計算される料金制度を「二部料金制」といいます。

基本料金とは

ご利用の目的や水道メーターの口径の大きさごとに設定された定額の料金。
水道水を使っても・使わなくてもかかる料金です。

超過料金とは

使用した水の量に応じてご負担いただく料金です。
使った分だけ水道料金に計算されます。

※月の途中から使用開始、又は中止したとき、基本料金は使用日数により月割料金となります。
水道メーターの検針は、定期的に2か月に1回行います。
家事用とは一般家庭用に使用するものを指します。他はすべて業務用となります。

たとえば、**家事用・口径13mm・使用水量38m³**の場合の水道料金(2か月分)の計算はこのようになります。

基本料金	1,780円	}	計 4,630円 + 消費税10% = 5,093円
超過(従量)料金① (0~16m ³)	16m ³ × 20円 = 320円		
超過(従量)料金② (17~40m ³)	22m ³ × 115円 = 2,530円		

ご利用の目的と口径の大きさによって適用される料金が分かれています

苫小牧市の水道水は、ご利用の目的によって、一般家庭向けの「家事用」、事業者向けなどの「業務用」等に分かれています。
さらに、水道メーターの口径が大きいほど料金が高く設定されています。

支払方法

水道料金のお支払は、**口座振替**または**納入通知書**によるお支払からお選びください。

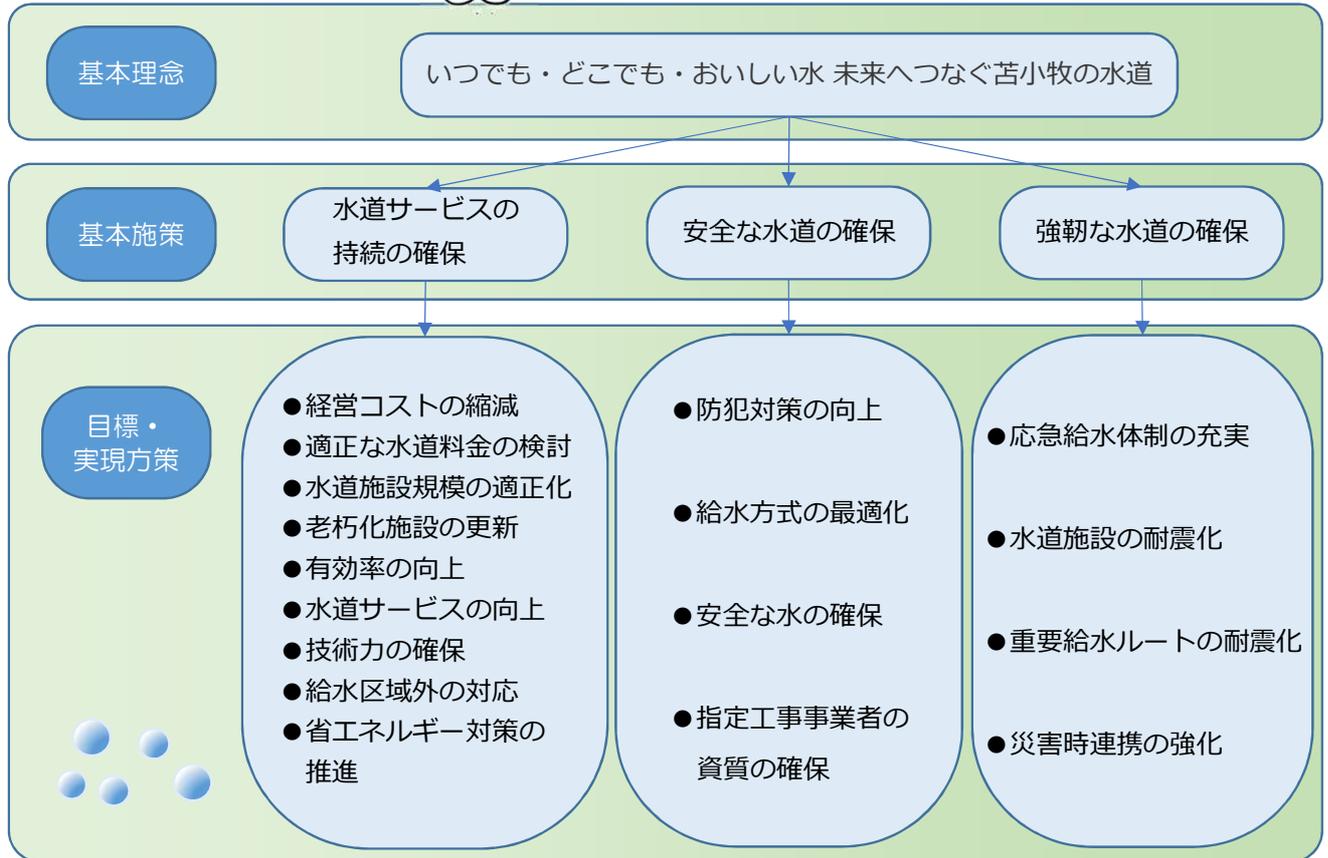
事業の 取り組み

新水道ビジョン

人口減少社会の到来や、経験のしたことのないような災害など、水道事業を取り巻く環境は、大きく変わってきています。水道は人々の暮らしや社会経済活動を支える重要なライフラインであり、このような環境変化に対応していかなければなりません。今後も水道事業を継続していくためには、水道事業者はもとより、水道を利用する多くの方とも水道の未来像を共有し、課題解決に向けて取り組んでいくため、平成30年3月に「新水道ビジョン」を策定し、事業に取り組んでいます。



水道事業の未来像

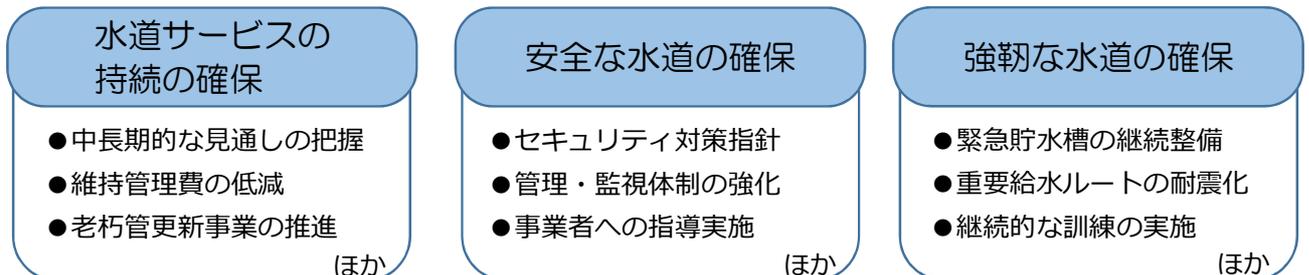


「新水道ビジョン」で示された基本理念、基本施策、目標・実現方策に基づいて、様々な取り組みを実施しています。

「新水道ビジョン」は事業推進のマスタープランであり、事業に携わる全ての職員が、課題解決に向けて共通の認識を持つための、重要なツールです。

次世代に苦小牧のおいしい水を引き継いでいくために、職員一丸となって取り組んでいきます。

水 主な取り組み 水





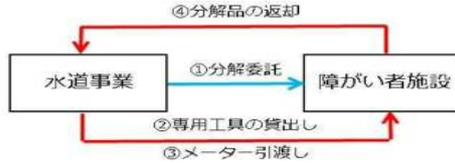
水道メーター分解委託事業

水道事業ではこれまで、使用済みとなった水道メーターを分解することなく、そのままリサイクル事業者へ売却処分していましたが、令和元年6月から、新たな社会貢献の施策として売却品となる「金属類」と、廃棄物となる「プラスチック類」に分解・分別する作業を障がい者就労施設等へ委託する「撤去水道メーター分解委託事業」をスタートしました。

1. 事業の概要



(分解前)



←金属類

←プラ類

(分解後)

専門工具は水道工事関連業者から寄贈を受けました。



2. 委託状況

令和元年度 実施数量等

項目	数量等	備考
分解総数	11,000個	平成30年度発生使用済みメーター
委託先施設数	11施設	委託施設一覧参照
1施設当たりの委託個数	1,000個	11,000個÷11施設
委託期間	6月3日~9月30日	2か月ごとに前半6施設、後半5施設

令和元年度 委託施設一覧

事業所名	住所	提供しているサービス
(社福)美々川福祉会 美々川センター	字美沢193	生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型
(社福)緑星の里 ワグランドのぞみ	字植苗121-7	生活介護・就労継続支援B型
(社福)ピバランド ふれあいらんど	新開町4-7-16	生活介護
(社福)せらび 就労支援センターまろにえ	新富町1-3-16	就労移行支援・就労継続支援B型
(株)進幸 POPサポート 苫小牧	表町1-3-4	生活介護
(医)玄洋会 工房四季	若草町5-3-1	就労移行支援・就労継続支援B型
(NPO)もなみ会 サポーターあそしえ	光洋町1-10-1	自立訓練(生活訓練)・就労継続支援B型
(有)アケイサポート ecoネット 苫小牧	日新町2-7-28	就労継続支援B型
南空知リサイクル(株) 総合リサイクル	字勇弘276-19	就労移行支援・就労継続支援B型
(NPO)愛の里	宮前町2-24-12	生活介護・自立訓練(生活訓練)
(株)konfidence らいふあす	本幸町1-3-4	就労継続支援B型

【受託者からの声】

- 新しい仕事は就労意欲の向上につながる。
- 今まで気がついていなかった通所者の個性や新たな可能性を見出すことができる。
- 仕事が増えることで収入確保につながる。

【今後について】

水道事業としては、これからも障がい者の就労支援を図るとともに、経済的自立の促進に寄与する取り組みをおこなってまいります。

事業の沿革



年号	西暦	できごと
昭和23年	1948	市制施行となる(人口33,131人)
24年	1949	「上水道布設計画」市議会で可決・日本水道協会加入
25年	1950	幌内川の水利権取得・創設事業認可及び事業着手
26年	1951	「苫小牧市水道使用条例」制定
27年	1952	市内一部に供給開始(5月)・「水道料金統制額」指定
29年	1954	上水道4カ年継続事業完成・水道料金改定・錦岡簡易水道認可着手
30年	1955	錦岡簡易水道給水開始・水道料金改定・沼ノ端簡易水道認可着手
31年	1956	沼ノ端簡易水道給水開始・勇払簡易水道認可着手
32年	1957	勇払簡易水道給水開始
34年	1959	水道事業認可変更(創設第1回給水区域拡張)
36年	1961	地方公営企業法適用・勇払簡易水道事業変更(水源変更)
37年	1962	第1次拡張事業認可及び事業着手・勇払川水利権取得
38年	1963	船舶給水開始・水道部新設・沼ノ端簡易水道事業変更(水量の増)
39年	1964	錦岡公営住宅団地簡易水道認可及び着手
40年	1965	第1次拡張施設供用開始・錦岡公営住宅団地簡易水道給水開始
41年	1966	水道料金改定・水道事業認可変更(1拡張1回給水区域拡張)
43年	1968	水道事業認可変更(1拡張2回給水区域拡張)・沼ノ端簡易水道廃止 水道料金改定・十勝沖地震による市内全域断水(配水管折損)
45年	1970	水道事業認可変更(1拡張3回給水区域拡張及び第4回給水区域拡張) 錦岡及び公営住宅団地簡易水道廃止
48年	1973	勇払簡易水道廃止
49年	1974	第2次拡張事業認可及び事業着手・錦多峰川水利権取得
51年	1976	第1次拡張事業完了・水道料金改定
52年	1977	第2次拡張施設(錦多峰浄水場供用開始による通水、8月) 配水本管800mm破損事故による36,000戸断水 苫小牧水道工事業協同組合設立(26社)
55年	1980	水道利用加入金制度導入・水道事業認可変更(2拡水量増)
56年	1981	高丘、錦多峰配水本管連通による相互融通体制確立(通水)
57年	1982	水道料金改定・樽前農用水(利用組合)供給開始
59年	1984	高丘配水池増設(3,4号)
60年	1985	高丘地下水取水場完成(8,000m ³ /日) 幌内地下取水場完成(4,000m ³ /日) 厚生省「おいしい水研究会」において、おいしい水道水の都市として全国人口10万人以上の198都市から32都市の1市に選出される。(北海道では本市と帯広市)
63年	1988	検針業務一部民間委託(苫小牧工事業協同組合)
平成元年	1989	錦多峰浄水場、次亜塩素酸ソーダに変更(以前は液化塩素)
3年	1991	錦多峰第2配水池増設 日本水道協会第60回総会本市開催・新型消火栓(スワン型)試作設置
4年	1992	高丘浄水場、次亜塩素酸ソーダに変更(以前は液化塩素)
5年	1993	錦多峰浄水場急速ろ過設備増設(9,000m ³ /日増で処理能力27,000m ³ /日となる)
6年	1994	水道料金改定・工事発注に係る配管資材の請負化実施(前支給材)
7年	1995	有珠の沢増圧ポンプ所設置
8年	1996	水道事業認可変更(2拡給水区域拡張・人口・水量) 錦多峰取水場上流部の産業廃棄物不法投棄による異臭事故発生

年号	西暦	できごと
9年	1997	錦多峰浄水場急速ろ過設備増設(9,000m ³ 増で処理能力36,000m ³ /日)完了 柳町に緊急災害用水道機材庫設置
10年	1998	高丘地下水取水場(非常用水源地)に簡易滅菌装置設置 錦多峰浄水場内に緊急災害用水道機材庫設置
11年	1999	植苗配水中継ポンプ場稼働 丸山国有林の一部(約4.2ha)を「丸山水源の森」として購入
12年	2000	有珠山噴火(3月31日)による支援(給水タンク、ポリ容器など)
14年	2002	通水50周年を(下水道事業50年)迎え、上下水道による50周年展を開催 樽前地区増圧ポンプ所設置
15年	2003	水道部ホームページ「とまごまいの水道」の開設(12月26日)
16年	2004	日の出公園に緊急貯水槽設置
17年	2005	王子町に配水コントロール施設完成(17年3月) 樽前ポンプ場使用停止(平成18年度から倉庫として再利用)
18年	2006	別々増圧ポンプ稼働・高丘浄水場2号配水池改良 日の出公園緊急災害対策用水道機材貯蔵庫設置
19年	2007	水道部と下水道部が統合し上下水道部となる(10月1日) 苫小牧市水道ビジョン策定
20年	2008	王子町配水コントロール施設遠隔設備設置
21年	2009	水道ビジョンに基づき、緊急貯水槽事業及び老朽管更新事業を国庫補助事業により開始 錦多峰浄水場ポンプ動力操盤設備更新
22年	2010	高丘浄水場7号緩速ろ過池増設・勇振取水場監視カメラ設置
23年	2011	高丘浄水場4号緩速ろ過池改良 水道料金改定(家事用基本水量制の廃止) 錦多峰浄水場非常用発電機更新・錦多峰取水場監視カメラ設置 白老町と協定締結「災害時における樽前地区制水弁操作に関する協定書」
24年	2012	錦多峰浄水場耐震補強実施
25年	2013	高丘浄水場5号緩速ろ過池改良・高丘浄水場に太陽光発電設備設置 錦多峰浄水場第3配水池築造 水道事業業務継続計画策定
26年	2014	錦多峰浄水場第3配水池供用開始・高丘浄水場6号緩速ろ過池改良 苫小牧市水安全計画策定
27年	2015	上下水道部業務継続計画策定 「とまチョップ水」販売 錦岡地区増圧ポンプ所設置・錦多峰浄水場地下水取水場築造 水道料金改定(業務用基本水量制の廃止)
28年	2016	字美沢地区の一部が安平町水道事業の給水区域となる
29年	2017	苫小牧市新水道ビジョン策定・勇振ポンプ場築造
30年	2018	北海道胆振東部地震(9月6日)による災害対応
令和元年(31年)	2019	苫小牧東部地域を給水区域へ編入 「とまチョップ水」モンドセレクション2019金賞受賞





お問い合わせ・相談窓口のご案内



上下水道部へのお問い合わせ および 相談窓口

【受付】 平日
8:45~17:15まで

苫小牧市外、または携帯電話からおかけの場合は、電話番号のはじめに市外局番**0144**をつけてください。

電話番号のお掛け間違いにご注意ください。

水道料金に関するお問い合わせ

使用開始・中止の届出、メーターの検針などについて → 料金係
水道料金、下水道使用料のお支払いについて → 収納係

営業課へ

☎ 32-6679
☎ 32-6647

水道の調査・建設工事のお問い合わせ

水道の調査・計画などについて → 計画係
水道建設工事の設計・施行などについて → 工事係

水道整備課へ

☎ 32-6587
☎ 32-6589

給水装置・配水管・給水管などのお問い合わせ

宅地内の水道、水道メーターなどについて → 給水係
道路上の水漏れなどについて → 配水管理係

水道管理課へ

☎ 32-6695
☎ 32-6701

水道水の水質に関するお問い合わせ

水道水の水質について → 水質検査係 ☎ 67-1153

錦多峰浄水場へ

とまチョップ水や入札などに関するお問い合わせ

とまチョップ水の販売などについて → 総務係
入札・契約などについて → 財務係

総務課へ

☎ 32-6628
☎ 32-6692

下水道の維持管理などのお問い合わせ

下水道の維持管理・排水設備について → 管理係

下水道計画課へ

☎ 32-6604

上下水道部
ホームページはこちら →



または

苫小牧 上下水道事業 検索

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/jogesuido/sokatsu>

こんなときは

- ご家庭の水道の修理や水道凍結の修理のお申込み
- 水洗トイレなどの水漏れ など



苫小牧市指定給水装置工事事業者
にお申込みください。



「水道修理を行う業者名簿」はQRコードからご覧になれます。





編集・発行 苫小牧市上下水道部
令和2年5月発行

〒053-8722

苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6111

FAX 0144-37-1661

HP <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>